

広島県立文書館の20年から30年《年表》

平成20年

- 10月 高田郡佐々井村（安芸高田市）井上家文書と世羅郡小国村（世羅町）田丸家文書寄贈（20日）
開館20周年記念講演会「厳島神社史の秘められた「謎」と記録資料」を広島県情報プラザ多目的ホールで開催（26日、講師松井輝昭県立広島大学教授、参加者167名）
- 11月 「竹原市市制50周年記念連続歴史講座」を県立広島大学・竹原市と共同開催（8日、29日、12月13日、於竹原市勤労青少年ホーム）
広島女学院大学学芸員課程の見学実習を実施（14日、6名）
第19回行政文書・古文書保存管理講習会、広文協役員会（28日、参加者47名）
『広文協通信』第14号発行（28日）
- 12月 県庁書庫行政文書選別作業（3日、～3月3日）
備北地域事務所から行政文書を受領（8日）

平成21年

- 1月 収蔵文書紹介展「広島工業港」開催（6日、～3月21日、観覧者286名）
県教委から行政文書を受領（13日）
- 2月 広島県立図書館から「広島県立図書館移管文書」移管（5日）
『広島県立文書館だより』第33号発行（10日）
中間書庫に書架35台を設置（16日）
第3回全史料協総務委員会開催（17日）
広文協第2回研修会（20日）
県教委行政文書選別作業（23日）
林業課（林業技術センター）から広島県全域の航空写真を受領（26日、3月2日）
- 3月 収蔵文書展「江戸・明治 商家文書の世界 ～広島県立文書館の収蔵文書から～」（27日、～6月9日、6月13日まで会期延長、観覧者362名）
『広島県立文書館紀要』第10号刊行（31日）
- 5月 監査委員事務局から行政文書を受領（13日）
第1回全史料協大会・研修委員会開催（15日）
広島市後藤陽一資料寄贈（19日）
広島学園から行政文書を受領（21日、28日）
文書調査員会議（26日）
県教委から行政文書を受領（27日）
- 6月 第4回中国四国地区アーカイブズウィーク（1日、～7日）
広文協総会・役員会開催、『広文協通信』第15号発行（2日）

- 文書館講演会「江戸・明治 商家文書の世界」(6日, 講師西向宏介副主任研究員, 参加者94名)
- 古文書解読入門講座開講 (13日, ~10月24日, 受講者57名)
- 収蔵文書紹介展「重要文化財奥家住宅の古文書」(17日, ~9月5日, 観覧者343名)
- 第2回全史料協大会・研修委員会開催 (19日)
- 安芸郡熊野町台沖忠氏収蔵文書寄贈 (24日)
- 7月 県庁から選別文書を中間書庫へ, 長期保存文書を文書館に搬送 (6日, ~7日)
- 続古文書解読入門講座開講 (18日, ~3月20日, 受講者27名)
- 広島市吉田慶良氏所蔵資料寄贈 (22日)
- 8月 公用車を更新し(スクラムバン)納車(3日)
- 中間書庫雨漏り修繕完了(27日)
- 9月 中間書庫でエキヒュームSによる燻蒸(5日, ~9月7日)
- 県庁ギャラリー展「藩から県へー広島県の誕生ー」(7日, ~9月25日, 観覧者226名)
- 収蔵文書紹介展「佐伯地方事務所の文書一回収された行政文書」(8日, ~平成22年1月23日, 観覧者212名)
- 安田女子大学の古文書学実習を実施(14日, 31名)
- 備北地域事務所から行政文書を受領(17日)
- 10月 複製資料目録デジタル化事業(緊急雇用対策基金事業)入札(16日)
- 長期保存文書整理臨時職員3名採用(26日)
- 広島女学院大学学芸員課程の見学・実習を実施(27日, 18名)
- 高宮郡関屋村(広島市)三浦家文書寄託(27日)
- 11月 地図・写真デジタル化事業(緊急雇用対策基金事業)入札(13日)
- 第20回行政文書・古文書保存管理講習会, 広文協役員会(27日, 参加者47名)
- 12月 県庁書庫で長期保存から有期限に変更した行政文書選別(8日, ~1月14日)
- 平成22年**
- 1月 『広島県立文書館だより』第34号発行(22日)
- 収蔵文書紹介展「江戸時代の年始」(26日, ~3月19日, 観覧者281名)
- 広文協研修会(29日, 於福山市まなびの館ローズコム)
- 2月 県庁書庫行政文書選別作業(4日, ~2月23日)
- 第5回全史料協大会・研修委員会開催(10日)
- 庄原市教育委員会から奴可郡川東村(庄原市)得能家文書・比婆郡東城町(庄原市)小田家文書・奴可郡小串村(庄原市)田辺家文書・奴可郡未渡村田辺家文書(庄原市)寄託(15日)
- 『広文協通信』第16号発行(26日)
- 3月 賀茂郡川尻村(呉市)河野家文書(本河野)寄託, 同村河野家文書(西河野)寄贈(19日)
- 収蔵文書展「明治初期の町村文書」(26日, ~6月11日, 観覧者314名)

- 資料集第6集『村上家乗 明治二年—四年』刊行 (31日)
- 4月 読売新聞(広島版)に収蔵文書展記事掲載「書式に近代化の歩み」(15日)
第1回広島県文書管理制度検討会議(28日)
- 5月 文書管理制度検討会議第1回WG会議(13日)
第1回全史料協大会・研修委員会開催(14日)
文書調査員会議(24日)
- 6月 第5回中国四国地区アーカイブズウィーク(1日、～7日)
長期保存文書整理臨時職員4名採用(1日)
広文協総会・役員会開催、『広文協通信』第17号発行(4日)
文書館講演会「明治初期の町村文書」(5日、講師総括研究員長沢洋、参加者52名)
古文書解読入門講座開講(12日、～10月23日、受講者50名)
収蔵文書紹介展「駐留軍と県行政」(16日、～9月4日、271名)
広島市石津他人氏収集文書寄贈(17日)
監査委員事務局から行政文書を受領(25日)
- 7月 文書館キャッチフレーズ「私たちは かけがえのない歴史資料を 未来へ伝えます」を閲覧室窓に掲出(7日)
双三郡布野村(三次市)堀江家文書寄託(9日)
続古文書解読入門講座開講(17日、～3月19日、受講者34名)
安芸郡坂村(坂町)兒玉家文書寄託(21日)
賀茂郡寺家村(東広島市)藏田家文書寄贈(22日)
美作国勝北郡東谷下村(岡山県美作市)宇野家文書寄贈(29日)
- 8月 観音高校から行政文書等を受領(5日)
西部総務事務所から行政文書を受領(19日)
県庁ギャラリー展示「広島県の歴史絵はがきと観光資料—戦前戦後の海・川・町—」(6日、～30日)
- 9月 収蔵文書紹介展「広島県の観光行政と観光パンフレット—昭和20年～40年代」(9日、～12月25日、395名)
安田女子大学の古文書学実習を実施(13日、34名)
県庁ギャラリー展「広島県の歴史絵はがきと観光資料—戦前の海・川・町—」(6日、～30日、観覧者310名)
広島市井瀨速男氏旧蔵文書寄贈(29日)
- 10月 長期保存文書整理臨時職員4名採用(1日)
広文協第1回研修会(4日、於廿日市市役所)
- 11月 マイクロフィルム等焼付け・製本事業(緊急雇用対策基金事業)入札(12日)
第21回行政文書・古文書保存管理講習会、広文協役員会(19日、参加者47名)
- 12月 芸備地方史研究会が研修会議室で歴史講座「広島県の歴史」を開催(4日、平成23年5月14日まで6回、当館後援)
『広文協通信』第18号発行(9日)
双三郡君田村(三次市)山田家文書寄贈(10日)

中国新聞（1面・特集面）に『LIVING HIROSHIMA』（田中嗣三資料）記事掲載「被爆2年後ヒロシマ活写」「惨状と復興世界に語る」（12日）
県教委から行政文書を受領（13日）

平成23年

- 1月 収蔵文書紹介展「広島藩における民衆教化と孝子奇特者褒賞—『芸備孝義伝』と『教訓道しるべ』—」（5日、～3月18日、312名）
- 2月 県庁書庫行政文書選別作業（1日、～24日）
広文協第2回研修会（4日、於広島市公文書館）
府中市橋本家襖下張文書寄贈（15日）
第4回全史料協大会・研修委員会開催（16日）
世羅郡東大田村（世羅町）植田家文書寄贈受入（19日）
- 3月 『広島県立文書館だより』第35号発行（25日）
収蔵文書展「激動の時代 幕末維新の広島と古文書」（28日、～6月11日、6月25日まで会期延長、観覧者610名）
『広島県立文書館紀要』第11号発行（31日）
『広文協通信』第19号発行（31日）
- 5月 呉市本庄村白井家文書寄贈（11日）
中国新聞（文化欄）に収蔵文書展記事掲載「民衆が見た幕末期の広島」（12日）
広島市立中央図書館で雨漏り被災資料を調査（12日）
文書調査員会議（25日）
広文協総会・役員会開催（27日）
- 6月 第6回中国四国地区アーカイブズウィーク（1日、～7日）
文書館講演会「幕末維新の広島と古文書」（4日、講師主任研究員西村晃、参加者134名）
安芸郡吉浦村（呉市）堰水尾家文書寄贈（9日）
古文書解読入門講座開講（11日、～10月22日、受講者55名）
文書管理制度検討会議第6回WG会議（15日）
- 7月 情報プラザ1階文書館階段入口に館名サイン設置（1日）
収蔵文書紹介展「近世芸備地方の地誌」（4日、～9月30日、観覧者430名）
広島市菅田三枝子氏所蔵資料寄贈（8日）
続古文書解読入門講座開講（16日、～3月17日、受講者31名）
第5書庫入口に虫侵入防止措置実施（25日）
高田郡三田村（広島市）植崎修策氏収集資料寄贈（27日）
- 8月 広島浅野家家中岡本家文書寄贈（19日）
安芸郡坂町林義孝氏所蔵資料寄贈（24日）
奴可郡森村（庄原市）横路家文書寄贈（25日）
- 9月 県庁ギャラリ－展「広島県の歴史絵はがきと観光資料－内陸部の風光－」（5日、～22日、観覧者185名）
監査委員事務局から行政文書を受領（6日）

- 安田女子大学の古文書学実習を実施（12日，41名）
広島大学文書館と「災害等の発生に伴う史・資料保護に関する相互協力協定」調印（15日）
広文協第1回研修会（15日，於広島大学中央図書館）
世羅郡青水村（世羅町）松尾家文書寄託（28日）
平成22年度レファレンス集をホームページに掲載（28日）
- 10月 長期保存文書整理臨時職員3名採用（1日）
二酸化炭素による燻蒸（5日，～19日，消毒室での最後の燻蒸）
収蔵文書紹介展「災害の記録と記憶」（11日，～12月27日，観覧者387人）
中国新聞に榑崎修策氏収集資料の紹介記事掲載「安芸津新報2年分寄贈」（14日）
県教委から行政文書を受領（25日）
- 11月 第22回行政文書・古文書保存管理講習会，広文協役員会（25日，参加者51名）
『広文協通信』第20号発行（25日）
- 12月 東部農業技術指導所，東部農林水産事務所尾道農林事業所から行政文書を受領（7日）
山県郡橋山施業森林組合文書寄贈（20日）

平成24年

- 1月 収蔵文書紹介展「草創期の広島の新聞」（10日，～3月16日，観覧者721名）
芸備地方史研究会が研修会議室で歴史講座「広島県の歴史」を開催（14日，平成24年5月12日まで5回，当館後援）
- 2月 消毒室の燻蒸庫を撤去（2日，～7日）
県教委行政文書選別作業（3日）
広文協第2回研修会・役員会（9日）
県庁書庫行政文書選別作業（10日，～3月5日）
廿日市市藤下憲明氏収集文書寄贈（13日）
佐伯郡上平良村（廿日市市）溝下家文書寄贈（16日）
- 3月 『広島県立文書館だより』第36号発行（16日）
御調郡三原町（三原市）正田家文書寄贈（23日）
収蔵文書展「広報資料からみた広島県政の歩み－1970～2000－」（26日，～6月9日，6月22日まで会期延長，観覧者424名）
消毒室を書庫として活用するため書架を設置（26日）
資料集第7集『村上家乗 文久二年・三年』刊行（30日）
『広文協通信』第21号発行（31日）
- 4月 豊田郡乃美村（東広島市）兒玉家文書寄贈（6日）
- 5月 NHK広島放送局がローカルニュースで収蔵文書展を紹介（10日）
放送大学面接授業（広島学習センター）「図書館・文書館の仕事」を実施（11日）
安芸郡府中町菅原範夫氏収集資料寄贈（16日）

- 広島市小林乙藏家文書寄贈 (22日)
 県立広島大学「博物館実習」学外実習 (24日, 参加者22名)
 広文協総会・役員会開催 (30日)
- 6月 第7回中国四国地区アーカイブズウィーク (1日, ~7日)
 文書館講演会「広報資料からみた広島県政の歩み—1970~2000—」(2日,
 講師主任研究員荒木清二, 参加者35名)
 文書調査員会議 (5日)
 古文書解読入門講座開講 (9日, ~10月27日, 受講者46名)
- 7月 収蔵文書紹介展「広島 of 歴史的風景—文書館収蔵の絵はがきから—」(2
 日, ~9月29日, 観覧者713名)
 中国新聞 (広島都市圏欄) に収蔵文書紹介展記事掲載「絵はがき広島を
 たどる」(18日)
 続古文書解読入門講座開講 (21日, ~3月16日, 受講者34名)
 沼隈郡能登原村 (福山市) 寺岡家文書寄託 (25日)
 広島浅野家家中尼子道竹資料寄贈 (27日)
- 8月 愛媛県松山市松浦茂氏所蔵資料寄贈 (10日)
 安佐郡古市村 (広島市) 二五田亀一文書寄贈 (28日)
- 9月 西部県税事務所, 市町行財政課から行政文書を受領 (10日)
 安田女子大学の古文書学実習を実施 (12日, 参加者55名)
- 10月 収蔵文書紹介展「ようこそ 江戸時代の厳島へ!」(9日~12月27日, 観覧者
 547名)
 県教委から行政文書を受領 (11日)
 利用案内を改訂 (18日)
 書庫空調設備の撤去, 設置工事を開始 (23日, ~11月16日)
- 11月 県庁ギャラリー展「広報資料から見た広島県政の歩み—1970~2000—」
 (5日, ~16日, 観覧者185名)
 読売新聞 (広島版) に県庁ギャラリー展記事掲載「懐かしの風景」(6日)
 中国新聞 (文化欄) に収蔵文書紹介展記事掲載「江戸期 地域が支えた厳島」
 (7日)
 第38回全国歴史資料保存機関連絡協議会全国 (広島) 大会「地域社会と
 ともに歩むアーカイブズ—今、なすべきこと」(8日~9日, 参加者268名, 臨
 時休館)
 書庫などにデータロガー (温湿度記録計) の子機を設置 (15日)
 東部農林水産事務所尾道農林事業所, 東部厚生環境事務所から行政文書
 を受領 (20日)
 恵蘇郡南村 (庄原市) 堀江家文書寄贈 (21日)
 西部厚生環境事務所広島支所から行政文書を受領 (29日)
- 12月 佐伯郡五日市村 (広島市) 林家文書寄贈 (11日)
 県立広島工業高校で資料調査を行い, 行政文書を受領 (17日, 1月30日)

京都市兼田文隆氏所蔵資料寄贈（27日）

平成25年

- 1月 収蔵文書紹介展「堀江家の古文書」（11日、～3月15日、観覧者343名）
芸備地方史研究会が研修会議室で歴史講座「広島県の歴史」を開催（12日、5月25日まで5回、当館後援）
中国新聞に山野村役場文書の県重要文化財指定記事掲載「明治維新や戦争乗り越え残存」（12日、その他各紙朝刊でも同様の記事掲載）
当館寄託「深安郡山野村役場文書」が県重要文化財に指定（24日）
- 2月 広文協第2回研修会（6日、於安芸高田市民文化センター・安芸高田市高宮支所）・役員会
『広文協通信』第22号発行（6日）
中国新聞（文化欄）に熊田重邦初代館長の追悼文掲載（元副館長安藤福平執筆）
「県史編さん 広島の財産」（7日）
県教委行政文書選別作業（13日）
県庁書庫行政文書選別作業（15日、～3月8日）
- 3月 『広島県立文書館紀要』第12号発行（15日）
『広島県立文書館だより』第37号発行（15日）
愛媛県四国中央市薦田允彦氏収集文書寄贈（21日）
収蔵文書展「『海の道』の近世～瀬戸内の景観と交流の歴史～」（25日、～6月8日、観覧者596名）
高田郡吉田町（安芸高田市）小都勇二資料寄贈（25日）
県の長期保存文書7,536冊が当館へ移管（27日）
『広文協通信』第23号発行（31日）
- 4月 中国新聞（文化欄）に収蔵文書展記事掲載「瀬戸内の活況映す絵図」（9日）
山野村役場文書追加寄託受入れ（16日、19日、25日）
県立広島大学「博物館実習」学外実習（25日、参加者25名）
- 5月 賀茂郡高屋東村（東広島市）高橋家文書寄贈（1日）
福山市新市町佐々木要氏収集文書寄贈（10日）
広文協総会・役員会開催（31日）
- 6月 第8回中国四国地区アーカイブズウィーク（1日、～7日）
文書館講演会「『海の道』の近世～瀬戸内の景観と生活・交流の歴史～」（1日、講師副主任研究員西向宏介、参加者81名）
第1回全史料協役員会開催（7日）
古文書解読入門講座開講（8日、～10月26日、受講者42名）
文書調査員会議（13日）
広島市野上光子氏所蔵文書寄贈（16日）
中国新聞（文化欄）に安藤福平元副館長投稿記事掲載「公文書管理進まぬ条例化 情報公開の土台認識を」（20日）
収蔵文書紹介展「広島県庁舎の戦災復興」（24日、～9月28日、観覧者489名）

- 広島市米田氏所蔵資料寄贈 (27日)
- 7月 広文協で公文書館機能の自己点検・評価指標「ミニマムモデル」及び「公文書管理法」等に関するアンケート調査を実施 (10日)
中国新聞(文化欄)に収蔵文書紹介展記事掲載「広島県庁舎復興の軌跡」(11日)
続古文書解読入門講座開講 (20日, ~3月15日, 受講者27名)
- 8月 安田女子大学の古文書学実習を実施 (5日, 参加者42名)
二酸化炭素による燻蒸 (5日~19日)
総務課から行政文書等を受領 (12日)
- 9月 沼隈郡松永町(福山市)岡本家(大松屋)文書, 岡本克子氏収集文書寄贈 (3日)
広文協第1回研修会 (30日, 於東広島市役所)
- 10月 収蔵文書紹介展「広島ゆかりの「古典籍」展~俳諧・狂歌と広島出版~」
(15日, ~12月27日, 県立文書館・県立広島大学・県立図書館「古典の日」連携事業, 観覧者513名)
中国新聞(文化欄「緑地帯」)に八津川和義館長執筆の「時代を映す文書館」連載 (17日, ~26日, 8回)
- 11月 中国新聞(文化欄)に収蔵文書紹介展記事掲載「江戸期広島文芸の隆盛」
(1日)
県立文書館・県立広島大学・県立図書館「古典の日」連携事業公開講座
(1日~2日, 参加者46名・50名)
三次市小田喜八郎文書寄贈 (22日)
第23回行政文書・古文書保存管理講習会, 広文協役員会 (26日, 参加者44名)
『広文協通信』第24号発行 (26日)
中国新聞(文化欄)「歴史を守る 失われゆく地域資料(上)」で文書調査員活動などを紹介「古文書 過疎・災害 個人管理に限界」(26日)
東部農林水産事務所尾道農林事業所, 東部厚生環境事務所から行政文書を受領 (28日)
広島市 財団法人広島県傷痍軍人会文書寄贈 (30日)
- 12月 県教委から行政文書を受領 (10日)
海外ビジネス課から行政文書を受領 (16日)
世羅郡津口村(世羅町)平野家文書寄託 (25日)
特別展示室に内扉を新設 (28日)

平成26年

- 1月 収蔵文書紹介展「データでみる深安郡山野村の経済成長」(14日, ~3月20日, 観覧者366名)
- 2月 西部厚生環境事務所から行政文書を受領 (6日)
中国新聞(文化欄)に収蔵文書紹介展記事掲載「激動の近代 揺れる農村」
(13日)
県教委行政文書選別作業 (14日, 県庁東館)
旧県立白木高校の教室に書架を設置 (17日)

- 第2回全史料協役員会開催 (21日)
広島浅野家家中三好家文書寄託 (21日)
広文協第2回研修会 (25日)
北部農林水産事務所から行政文書を受領 (27日)
- 3月 県教委から行政文書を受領 (13日)
『広島県立文書館だより』第38号発行 (14日)
広島市高野源進書簡寄託 (14日)
中国新聞(1面)に高野源進書簡紹介記事掲載「ヒロシマ壊滅その時知事は」(17日)
共同通信社が「高野源進書簡」を取材、配信 (17日)
ホームページに「長船友則氏収集資料」絵葉書のデジタル画像を掲載(19日)
資料集第8集『村上家乗 万延元年・文久元年』刊行 (31日)
『広文協通信』第25号発行 (31日)
- 4月 中間書庫として旧県立白木高校の教室を取得 (1日)
収蔵文書紹介展「被爆時の県知事 高野源進とその書簡」(4日、～6月21日、さらに8月22日まで期間延長、観覧者566名)
常設展を一新 (4日、約3か月間おきに5部門の原文書展示)
県庁書庫行政文書選別作業 (24日、～6月3日)
- 5月 中国新聞(文化欄)に収蔵文書紹介展記事掲載「被爆前後 知事の胸中」(10日)
比婆郡口南村(庄原市)三吉家文書寄贈 (10日)
中国新聞(「伝えるヒロシマ」)に、高野源進書簡掲載 (12日)
廿日市市近藤憲男氏所蔵文書寄贈 (15日)
安芸郡上瀬野村(広島市)土方家文書寄託 (20日)
NHK学園古文書講座のスクーリング開催 (23日、参加者30名)
広島市藤原浩修氏収集資料寄贈 (23日)
観音書庫で雨漏りが発生 (27日)
広文協総会・役員会開催 (30日)
- 6月 第9回中国四国地区アーカイブズウィーク (1日、～7日)
広島県信用組合六十年史編纂資料寄託 (2日)
広島市小西正則氏所蔵資料寄贈 (4日)
ホームページで「文書館Monthly Report」を開始 (6日)
文書館講演会「新資料が語る広島壊滅のとき～高野源進書簡と船舶司令 部作命綴～」(7日、講師元副館長安藤福平、参加者43名)
三次市楠功氏所蔵資料寄贈 (12日)
古文書解読入門講座開講 (14日、～10月25日、受講者64名)
福利課から『広島県庁原爆被災誌』生原稿や関係文書、県職員原爆犠牲者遺族更生会関係文書などを移管 (17日)
文書調査員会議 (18日)
観音書庫で雨漏り修繕工事 (19日、～20日)

- 第1回全史料協役員会開催 (20日)
- 7月 福岡市沖田恭祐氏収集資料寄託 (4日)
 安芸郡牛田村 (広島市) 榎原家文書寄贈 (10日)
 ホームページで「今日の文書館」を開始 (14日)
 沼田郡久地村 (広島市) 日詰吾朗旧蔵文書寄贈 (16日)
 広島市加藤家文書寄贈 (16日)
 続古文書解読入門講座開講 (19日, ~3月21日, 受講者28名)
 賀茂郡原村 (東広島市) 景山家文書寄託 (30日)
- 8月 安田女子大学の古文書学実習を実施 (5日, 参加者15名)
 TBSテレビが「NEWS23 綾瀬はるか戦争を聞く」の中で『広島県庁原爆被災誌』生原稿や関係文書を紹介 (6日)
 広島ホームテレビが番組「幻の広島復興映画」の中で「田中嗣三資料」を紹介 (6日)
 中国新聞 (文化欄) に, 常設展のうち「『広島県庁原爆被災誌』関係記事」掲載「被爆手記痛み後世に 県職員の原本展示」(12日)
 NHK広島放送局が収蔵文書紹介展をローカルニュースで紹介 (15日)
 GIRUDO.PHOTO.PRESS (平和の国国際写真家通信) が「被爆時の県知事高野源進とその書簡」展を取材 (18日)
 ロビーに「広島県立文書館の使命」案内板を設置 (26日)
 監視モニターを更新, 入館カウント機を設置 (29日)
- 9月 県庁ギャラリー展「広島県庁舎の戦災復興」(1日~19日, 観覧者221名)
 8月20日の土砂災害で被災した写真アルバムの修復作業を開始 (1日, ~10月14日)
 収蔵文書紹介展「郷土史研究家・収集家たちの遺した資料」(4日, ~10月25日, 観覧者263名)
 被災写真修復作業支援のため史料ネット (5日, 6日, 8日), 富士フィルム職員 (18日) が来館
 広島市渡部正信氏所蔵文書寄贈 (16日)
 沼田郡阿戸村 (広島市) 宇高家文書寄託 (20日)
 広島ホームテレビが番組「Jステーション」の中で当館の被災写真修復作業を紹介 (23日)
 財産管理課から広島カーブ創設期の株券と関連文書を移管 (24日)
 広報課から図書等の資料を受領 (25日)
 広文協第1回研修会 (26日)
- 10月 中国新聞 (1面) に, 広島カーブ創設期の株券と関連文書の紹介記事掲載「カーブ創設期県も金策 窮状訴える文書や株券」(3日)
 高陽東高校で, 教員・生徒・史料ネット・富士フィルム・当館職員がボランティアによる被災写真の洗浄作業 (11日, 14日)
 中国新聞 (被災地から) に, 高陽東高校での被災写真洗浄作業掲載「写真

洗浄 思い出再び 高陽東高生が作業 持ち主に返却へ」(15日)
収蔵文書紹介展「収蔵資料にみる昔の旅の和歌・唱歌」(31日、～1月10日、
観覧者242名)

- 11月 県立文書館・県立広島大学・県立図書館「古典の日」連携事業公開講座
(1日、参加者28名)
第24回行政文書・古文書保存管理講習会、広文協役員会(28日、参加者48名)
『広文協通信』第26号発行(28日)
- 12月 「土砂災害で被災したアルバム・写真への対処法(手引き)」のリーフレ
ットを作成し、当館ホームページに掲載(4日)
双三郡三次町(三次市)金井家文書寄贈(5日)

平成27年

- 1月 営繕課から元陸軍兵器補給廠の建物配置図を受領(7日)
御調郡市村(三原市)安原家文書・高田郡秋山村(広島市)森家文書寄贈
(21日)
収蔵文書紹介展「五十年前の広島県政～昭和40年前後の行政文書から」
(26日、～3月20日、観覧者242名)
- 2月 広文協第2回研修会(5日)
「被災アルバム修復と「リーフレット」作成の取組み」が県庁内の12月
「ベストプラクティス大賞」を受賞、授与式に出席(9日)
西部厚生環境事務所から行政文書を受領(10日)
県教委行政文書選別作業(13日、県庁東館)
第2回全史料協役員会開催(20日)
北部農林水産事務所から行政文書を受領(24日)
- 3月 神石郡高蓋村(神石高原町)井上家文書寄贈(2日)
広島市広島労音機関誌寄贈(12日)
『広島県立文書館だより』第39号発行(13日)
県立文書館・広島大学・県立図書館連携「地域アカデミー2014」(14日、
参加者20名)
収蔵文書展「広島藩士三好家文書」展について記者発表(16日、4月3日ま
でにRCCテレビ・広島ホームテレビ・中国新聞・毎日新聞・産経新聞・読売新聞・朝日新聞
が報道)
監査委員事務局から行政文書を受領(24日)
収蔵文書展「広島藩士 三好家文書展－三好長慶から信長・秀吉・浅野
長勲まで－」(27日、～6月13日、観覧者901名)
元副館長安藤福平氏を「広島県立文書館名誉館員」に認定(27日)
『広文協通信』第27号発行(31日)
- 4月 読売新聞(広島版)に「被災資料 よみがえる 県立文書館HPに修復の手
引き」掲載(6日)
県教委から行政文書を受領(9日)

- 元ひろしま産業振興機構職員から、商工関係の行政資料約100冊を受贈(28日)
- 5月 NHKの番組プライムS「被爆70年 焦土の放送局～ヒロシマは何を伝えてきたか～」で「広島県知事告諭」(亘春市文書)を紹介(1日)
安佐郡日浦村(広島市)高路家文書寄贈(1日)
アンケートに記入した展示観覧者へのプレゼントとして当館収蔵資料絵葉書の配布を開始(15日)
広島市平岡家文書寄贈(15日)
広文協総会・役員会開催(29日)
- 6月 第10回中国四国地区アーカイブズウィーク(1日、～7日)
『中国新聞』(文化欄)に収蔵文書紹介展紹介記事掲載「みこし行列平和の証し 10月に復活 広島東照宮の「通り御祭礼」とは」(4日)
文書館講演会「戦国大名三好氏の興亡と三好生勝」(6日、講師関西大学非常勤講師天野忠幸、参加者158名)
文書調査員会議(12日)
古文書解読入門講座開講(13日、～10月24日、受講者61名)
県教委総務課に学校資料の保存について協力依頼(17日)
中国新聞(文化欄)に収蔵文書紹介展記事掲載「通り御祭礼 最古の絵図 県立文書館で発見」(23日)
収蔵文書紹介展「広島東照宮「通り御祭礼」展～二百年振りに復活する 城下町の祭り～」開始(27日、～9月5日、観覧者436名)
- 7月 広島浅野家家中箕浦家文書寄贈(8日、平成30年11月2日返却)
山県郡中筒賀村(安芸太田町)栗栖家文書寄贈(10日)
続古文書解読入門講座開講(18日、～3月19日、受講者42名)
東部農林水産事務所から行政文書を受領(30日)
- 8月 安田女子大学の古文書学実習を実施(4日、参加者8名)
NHK・BS1の番組「キャノン・ハーシー “ヒロシマ” への旅～なぜ祖父は語らなかったのか」(BS世界のドキュメンタリー)で「LIVING HIROSHIMA」(田中嗣三資料)掲載写真を紹介(4日、～5日)
TBSが番組「NEWS23シリーズ「戦後70年」」で被爆時の千田町巡査派出所(御幸橋西詰)に関する行政文書を紹介(6日)
安佐郡八木村(広島市)清水高雄文書寄贈(24日)
文書の埃払い用集塵機を改良作成(25日)
『広島県立文書館紀要』第13号発行(31日)
- 9月 県庁書庫行政文書選別作業(14日、～10月22日)
広島市立中央図書館と連携し、同館で企画展「広島東照宮「通り御祭礼」展」(17日、～10月14日、観覧者1,421名)
- 10月 広文協第1回研修会(1日、於広島市中区地域福祉センター・広島市公文書館)
独立行政法人国際協力機構(JICA)の協力を得て特別展示「広島から世

界へ～移住者の歴史と現在」を開催（5日、～12月26日、観覧者474名）
NHK広島放送局がローカルニュースで特別展示を紹介（5日）
『広島県史 年表（別編1）』の「年表PDF版」を、考古から順次ホームページへ掲載（20日、平成30年3月までにすべて掲載）
平成17～25年度に対応した主要なレファレンスを主題別に分類し、ホームページへ掲載（20日）

- 11月 広島市谷口博資料寄贈（4日）
県立文書館・広島大学・県立図書館連携「地域アカデミー2015」（7日・14日、参加者28名・20名）
第25回行政文書・古文書保存管理講習会、広文協役員会（20日、参加者59名）
『広文協通信』第28号発行（20日）
- 12月 広島市埴坂道子氏所蔵文書寄贈（2日）
日本年金機構職員中国ブロック本部職員が駐留軍関係年金記録の資料調査（9日）

平成28年

- 1月 収蔵文書紹介展「収蔵資料で見る「年始」の歴史」（12日、～3月19日、観覧者339名）
広島市公文書館の依頼で文書整理・補修について実技指導（21日）
西部厚生環境事務所から行政文書を受領（27日）
- 2月 県教委から行政文書を受領（4日、～24日）
広文協第2回研修会（16日、於呉市役所）
佐伯郡和田村（広島市）前家文書寄贈（23日）
ホームページの保存管理講座に「文書の虫害対策と保存環境」、「資料の所在調査」掲載（26日）
- 3月 奴可郡森村（庄原市）松崎家文書寄贈（1日）
日本年金機構本部職員が駐留軍関係年金記録の資料調査（2日）
利用者用ロッカーを交換（8日）
『広島県立文書館だより』第40号発行（13日）
監査委員事務局から行政文書を受領（25日）
資料集第9集『村上家乗 安政五年・六年』刊行（25日）
収蔵文書展「広島県の市町村合併」（28日、～6月11日、6月27日まで会期延長、観覧者368名）
『広文協通信』第29号発行（31日）
- 4月 高宮郡中島村（広島市）田中家文書寄贈（1日）
データロガーを第2・第3書庫、旧消毒室、荷解整理室に設置し、30分間隔での温湿度計測を開始（5日）
第1・第2書庫集密書架の照明修理（13日、～14日）
大阪市西野榮一氏収集資料寄贈（19日）
佐伯郡菅沢村（広島市）守下家文書寄贈（20日）

- B1 書庫の前室に粘着マットを初めて設置 (27日)
- 5月 広島市井瀧真資料寄贈 (13日)
 広文協総会・役員会開催 (31日)
- 6月 第11回中国四国地区アーカイブズウィーク (1日、～7日)
 文書館講演会「広島県の市町村合併」(4日、講師主任研究員荒木清二、参加者38名)
 文書調査員会議 (7日)
 古文書解読入門講座開講 (11日、～10月22日、受講者60名)
 安田女子大学の古文書学実習を実施 (27日、参加者14名)
 学習院大学大学院生が当館でアーカイブズ機関実習を受講 (29日、～30日、
 7月26日～28日、8月23日～26日)
- 7月 県教委総務課・学校経営支援課で学校資料の保存について協力依頼 (1日)
 収蔵文書紹介展「中国四国地方の歴史絵はがき一町・史跡・観光地一」
 (4日、～10月1日、観覧者241名)
 広島県公立高等学校長協会管理運営委員会で学校資料保存の趣旨を説明
 (5日)
 高宮郡鈴張村 (広島市) 片山家文書寄贈 (6日)
 三次郡三次町 (三次市) 堀田家文書寄託 (13日)
 北部総務事務所から行政文書を受領 (14日)
 西部東厚生環境事務所から行政文書を受領 (20日)
 兵庫県伊丹市上松氏収集文書寄託 (26日)
- 8月 県教委から行政文書を受領 (3日)
 大型除湿機を2台購入し、第5書庫へ配置 (8日)
 県庁書庫行政文書選別作業 (10日、～10月12日)
- 9月 観音書庫でエキヒュームSによる燻蒸 (6日、～7日)
 東部農林水産事務所から行政文書を受領 (14日)
 「文書館の利便性に向けた取組～広島県史年表のWEB公開」が県庁内
 の7月「ベストプラクティス大賞」を受賞、授与式に出席 (15日)
 賀茂郡広村 (呉市) 織田家文書寄託 (16日)
 続古文書解読入門講座開講 (17日、～3月18日、受講者40名)
 深津郡野上村 (福山市) 小砂家文書寄託 (23日)
 県教委行政文書選別作業 (28日)
 安佐郡中原村 (広島市) 玉谷家文書寄贈 (30日)
- 10月 県教委から長期保存文書769冊を移管 (3日)
 佐伯郡津田村 (廿日市市) 正木家文書寄贈 (4日)
 広島テレビが番組「テレビ派」などで平成26年度に財産管理室から移管
 された広島カープ創設期の株券と関連文書を紹介 (7日、8日に朝日新聞、12
 日にNHK広島放送局でも紹介)
 収蔵文書紹介展「広島の武道—江戸時代の「スポーツ」—」(8日、～12月
 27日、観覧者519名、常設展で広島カープ創設期の株券と関連文書を展示)

- 北部農林事務所から行政文書を受領（18日）
広文協第1回研修会（21日）
賀茂郡吉川村（東広島市）役場文書寄贈（25日）
山県郡八重町（北広島町）美濃家文書寄贈（27日）
広島城下町触等下張文書寄贈（28日）
- 11月 広島県下諸家系譜寄贈（2日）
沼田郡久地村（広島市）粟根家文書寄託（4日）
広島浅野家家中町野家文書寄贈（9日）
佐伯郡虫所山村（廿日市市）品川家文書寄贈（14日）
平成28年度中国・四国地区文書館等職員連絡会議（21日、～22日）
『広文協通信』第30号発行（20日）
第26回行政文書・古文書保存管理講習会、広文協役員会（22日、参加者56名）
ビネガーシンドロームが発生したマイクロフィルム（複製済）の廃棄作業を実施（28日）
- 12月 第5書庫配架の行政文書にカビ発生を発見（1日）
毎日新聞（広島版）に収蔵文書紹介展記事掲載「広島 of 武道原点探る」（5日）
第5書庫でカビ被害が発生した書架を養生シートで隔離（7日）
佐伯郡栗栖村（廿日市市）丸石家文書寄贈（12日）
県立神辺高校から行政文書を受領（16日、2月8日）
荷解整理室に作業用テントを仮設し、行政文書のカビ除去作業を開始（19日）
- 平成29年**
- 1月 荷解整理室で行政文書のカビ除去と整理ケース交換作業を本格的に開始（6日、～6月14日、月・水・金曜日午前2時間に作業）
安芸郡坂町小野氏旧蔵文書寄贈（21日）
収蔵文書紹介展「三八豪雪一昭和38年1月豪雪の記録一」（28日、～3月18日、観覧者277名）
- 2月 広文協第2回研修会（8日、於福山市まなびの館ローズコム）
県教委、西部県税事務所廿日市分室、西部厚生環境事務所から行政文書を受領（9日）
岩手県釜石市・遠野市で被災文書の状況を調査（21日～23日）
広島市古林敏郎氏資料寄贈（24日）
- 3月 国際課から長期保存文書2冊移管（3日）
広島市高野虎市文書寄贈（3日）
『広島県立文書館だより』第41号発行（17日）
鈴峯女子短大から図書などを受領（22日）
収蔵文書展「広島県の鉄道のあゆみⅡ 県北の路線を見つめる」（28日、～6月10日、観覧者843名）
NHK広島放送局が収蔵文書展をローカルニュースで紹介（29日）
『広文協通信』第31号発行（31日）

- 県教委から長期保存文書6冊移管(31日)
- 4月 広島浅野家中大藤家文書, 佐伯郡下河内村(広島市)荒木家文書, 山県郡西宗村(北広島町)吉原家文書寄贈(1日)
 らせん階段で「写真パネルギャラリー 可部線 花と川の風景(可部-三段峡間)」(7日, ~9月4日)
 中国新聞に収蔵文書展記事掲載「県内ローカル線 建設の熱気再び」(15日)
 広島市川口孝太郎氏収集文書寄贈(19日)
 朝日新聞(広島版)に収蔵文書展記事掲載「県北の鉄道 文書で歩みたどる」(21日)
 書庫の温湿度調整について情報プラザ中央監視室と協議(26日)
- 5月 第5書庫で清掃・文書の再配架作業を開始(12日, ~3月28日, 月・水・金曜日午前中2時間に作業)
 平成20年度に移管された航空写真の検索目録を閲覧室で開架(19日)
 広文協総会・役員会開催(23日)
 文書館講演会「アーカイブズで見つめる県北の鉄道路線」(27日, 講師主任 研究員西向宏介, 参加者70名)
 広島市仙道泰氏旧蔵文書寄贈(29日)
- 6月 第12回中国四国地区アーカイブズウィーク(1日, ~7日)
 文書調査員会議(5日)
 豊田郡本郷町(三原市)高橋家文書寄贈(9日)
 古文書解読入門講座開講(10日, ~10月28日, 受講者58名)
 観音書庫の環境整備のため窓に遮光カーテンを取付け(15日, 8月8日)
 県立可部高校から行政文書を受領(16日)
 書庫にデータロガーを増設(20日)
 デジタルフィルムスキャナーを購入し使用を開始(27日)
 収蔵文書紹介展「広島歴史的風景一文書館収蔵の絵はがきから」(29日, ~10月3日, 観覧者414名)
 安田女子大学の古文書学実習を実施(30日, 参加者12名)
- 7月 広島市井上洋一郎旧蔵文書寄贈(1日)
 山県郡加計村(安芸太田町)高下家文書寄贈(10日)
- 8月 日本経済新聞に広島カーブ創設期の株券と関連文書の紹介記事掲載「カーブが説く「国民総株主」-文書館保存の株券」(2日)
 大型サーキュレーター2台を第5書庫へ設置(3日)
 広島市光岡徹氏旧蔵文書寄贈(9日)
 県立広島大学学生1名の博物館実習受入れ(21日, ~25日)
 県庁書庫行政文書選別作業(23日, 9月7・13・14日, 11月1日・2日)
- 9月 比婆郡東城町(庄原市)和田高男氏旧蔵文書, 奴可郡保田村(庄原市)小林家文書寄贈(5日)
 らせん階段で「写真パネルギャラリー 川や山を越えて走る-中国地方

- の鉄橋とトンネル―」（5日、～平成30年8月31日）
 中国新聞（文化欄）に日詰吾朗旧蔵文書の紹介記事掲載「広島に伝わる幕府財政記録」（6日）
 高田郡志屋村（広島市）伊東家文書寄贈（6日）
 続古文書解読入門講座開講（16日、～3月17日、受講者43名）
 山県郡有田村（北広島町）児玉家文書寄贈（28日）
 10月 元広島県海田合同庁舎車でエキヒュームSによる燻蒸（2日、～5日）
 広文協第1回研修会（3日）
 佐伯郡高祖村（江田島市）河野家文書寄贈（13日）
 収蔵文書紹介展「学校の記録から見えてくるもの—学校資料の収集を通して—」（14日、～12月27日、観覧者266名）
 第5書庫への土足入庫を禁止（16日）
 中国新聞（文化欄「緑地帯」）に三浦忍文書調査員執筆の「文書調査員がゆく」連載（18日、～27日、8回）
 広島浅野家家中梶井家文書寄贈（26日）
 沼田郡飯室村（広島市）福島家文書寄贈（27日）
 11月 大型プリンターでパネル・ポスター・垂れ幕などの製作を開始（8日）
 県立文書館・広島大学・県立図書館連携「地域アカデミー2017」第1回を当館で開催（11日、参加者18名）
 第27回行政文書・古文書保存管理講習会、広文協役員会（21日、参加者54名）
 『広文協通信』第32号発行（21日）
 西部厚生環境事務所呉支所から行政文書を受領（22日）
 北部総務事務所、同庄原支所から行政文書を受領（27日）
 12月 県教委行政文書選別作業（11日）
 佐伯郡浅原村（廿日市市）佐々木家文書、沼田郡飯室村（広島市）福島家文書寄贈（11日）
 福山総務事務所から行政文書を受領（12日）
 県警本部から行政文書を受領（13日）
 社会援護課から行政文書を受領（22日）

平成30年

- 1月 中国新聞（広島都市圏面）で、「開設30年」を迎えた県立文書館（「歴史の一端掘り起こす」）などの文化施設を特集（1日）
 中国新聞（1面）で、当館が収蔵する広島市と広島県が唯一共催した平和祈念式典の舞台裏を明かす行政文書について報道（3日）
 古文書解読同好会で、三浦忍文書調査員が中国新聞連載の「文書調査員がゆく」をもとに講演（6日）
 収蔵文書紹介展「開峡百周年 三段峡の歴史と自然」（10日、～3月17日、観覧者360名）
 統計課から行政文書等を受領（18日）

- 業務用大型除湿機1台を荷解整理室に設置(18日)
 書庫入口に粘着マットを増設、第5書庫入口に隙間ブラシを設置(22日)
 東部農林水産事務所尾道農林事業所から行政文書を受領(31日)
- 2月 広文協第2回研修会(8日、於安芸高田市民文化センター)
 呉市佐々木家文書、広島市下向井龍彦氏所蔵文書、広島市保田(訓)家文書寄贈(28日)
- 3月 広島市三宅明氏収集文書寄贈(6日)
 山県郡安芸太田町百々寿子氏所蔵文書寄贈(8日)
 『広島県立文書館だより』第42号発行(10日)
 中国新聞(社会面)で当館所蔵行政文書を写真入りで掲載「旧優生保護法下の不妊手術 広島や福岡の資料で判明」(16日)
 収蔵文書展「遺された日記たちが語ること」(27日、～6月9日、観覧者357名)
 『広文協通信』第33号発行(31日)
- 4月 山県郡大朝村(北広島町)石津家文書寄贈(2日)
 監査委員事務局から行政文書を受領(4日)
 古文書勉強会が発足(10日、毎月第2火曜日午後1時に当館研修会議室で活動)
 広島市寺島卓一氏収集文書寄贈(12日)
 広島市高上龍雄氏収集文書寄贈(23日)
- 5月 佐伯郡小方村(大竹市)和田家文書寄贈(1日)
 エキヒュームSによる燻蒸(3日、～6日)
 広島浅野家家中多田家文書寄贈(12日)
 広文協総会・役員会開催(22日)
 第5書庫の空調吹出口へファン4台を設置(23日)
 カビ発生の行政文書整理ケース交換作業を実施(23日、～7月18日、毎週水曜日午前中2時間に作業)
 県立歴史博物館から行政文書を受領(25日)
 大型除湿機4台を各書庫へ配置して稼働(25日)
- 6月 第13回中国四国地区アーカイブズウィーク(1日、～7日)
 文書館講演会「遺された日記たちが語ること」(2日、講師総括研究員西村晃、参加者52名)
 三谿郡檜村(三次市)奥田家文書寄贈(4日)
 白木書庫にデータロガーを設置し環境測定を開始(4日)
 古文書解読入門講座開講(9日、～10月27日、受講者58名)
 福山市三浦昇一資料寄贈(13日)
 文書調査員会議(15日)
 松尾幾雄氏所蔵文書寄贈(15日)
 収蔵文書紹介展 写真展「三江線の軌跡」(18日、～9月22日、観覧者308名)
 安田女子大学の古文書学実習を実施(22日、参加者7名)
- 7月 双三郡吉舎町(三次市)瀧口家文書寄贈(4日)

- 広島市大瀬戸捷文氏所蔵文書寄贈
県立文書館・県立広島大学・県立図書館連携公開講座「唐物をめぐる文化誌」(6日, ~20日, 全3回, 参加者39~52名)
平成30年7月豪雨(6日, 大雨特別警報発表)
県庁書庫行政文書選別作業(9日, ~30日)
広島大学文書館と「災害時の史資料保護の相互協力協定」の適用について協議(9日)
広文協事務局から会員市町へ「被災文書・記録等に関する情報提供について」依頼文書を発送(10日)
7月豪雨で被災した安芸郡海田町の神社文書を当館へ運搬, 救援作業開始(12日・19日・23日, 8月31日返却)
被災した広島市立深川小学校の公文書を当館へ運搬(13日, 広島大学文書館との協定による救援作業, 8月30日返却)
広島市村上絢一氏収集文書寄贈(17日)
ホームページのトップページに「捨てないで!大切な地域の文書・記録」と「こんな時はどうしたらいい? 水害などで水に濡れた文書の応急処置」掲載(18日)
被災した福山市の神社文書を当館へ運搬(23日, 平成31年1月24日返却)
中国新聞に被災資料救済作業の記事掲載「被災した文書応急処置 広島県立文書館と広島大 地域・行政の記録守る」(26日)
被災した広島市安芸区の元酒屋文書を当館へ運搬(26日, 広島大学文書館との協定による救援作業)
被災した呉市立音戸小学校文書を当館へ運搬(27日, 10月20日返却)
被災資料の一部を冷凍保存するため, 広島市内の冷凍倉庫へ運搬(27日, 8月2日)
被災した呉市立安浦小学校文書を文書館へ運搬(31日, 10月10日返却)
- 8月 公用車を更新し(スクラムバン)納車(2日)
豊田郡能良村(東広島市)松田家文書寄贈(3日)
読売新聞に被災資料救済作業の記事掲載「救え 泥まみれの古文書」(15日)
被災した三原市本郷公民館の文書を調査し文書館へ運搬(17日, 12月19日返却)
被災した三原市大草公民館の文書を当館へ運搬(21日, 12月19日返却)
豊田郡船木村(三原市)霹靂神社文書寄贈(23日)
地下書庫と事務室で空中浮遊菌調査を実施(27日)
広島市友久武文資料寄贈(29日)
- 9月 山口県大津郡日置村(長門市)岡村俊治氏資料寄贈(5日)
続古文書解読入門講座開講(8日, ~3月16日, 受講者36名)
広文協が会員の県内市町を対象に「古文書の保存・活用に関するアンケート調査」を実施(20日)
北部総務事務所, 北部県税事務所, 北部農林水産事務所から行政文書を

受領 (25日)

収蔵文書紹介展「激動の時代 幕末維新の広島と古文書」(29日, ~12月27日,
観覧者435名)

開館30周年記念講演会「明治維新と広島－幕末維新时期広島藩の政治動向
－」(29日, 講師広島大学名誉教授 三宅紹宣)

10月 広島県立文書館開館30周年 (1日)

第4書庫の一部にハンドル式集密書架を設置 (7日, ~9日)

広文協第1回研修会 (24日, 於三次市役所・布野支所)

豊田郡東生口村 (尾道市) 長田家文書寄贈 (26日)